

< 農業生産条件の強化（自己施行）に取り組む事例 >

## 用排水路の整備で生育力・効率アップ

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県五所川原市・前田野目集落組合			
協定面積 60.1ha	田（100%）	畑	草地	採草放牧地
	水稻、飼料用米			
交付金額 481万円	個人配分			50%
	共同取組活動 （50%）	担当者活動経費		4%
		用排水路整備費		24%
		水路・農道等維持管理		14%
	その他（会議・積み立て）		8%	
協定参加者	農業者 54人、前田野目自治会（構成員113人）他2団体（30名）			開始：平成13年度

### 2. 取組に至る経緯

当集落は、五所川原市の東南部に位置し、梵珠山を源とする前田野目川に沿って南北に開かれた細長い集落である。

先人たちが力を合わせ、村と暮らしを守ってきた精神が受け継がれ、元旦の裸参りや水かぶり等の伝統行事が今でも行われている。

住民の和のとれた農村集落であります。高齡化、転作率のアップ等により遊休農地が目立つようになってき。

このような中、本事業が創設されたことにより、先人から受け継がれた自然、農地、伝統をなくさないよう、岩魚の稚魚放流、道路沿いの花壇整備、用排水路の整備等、集落が一丸となって取り組むことになった。

### 3. 取組の内容

当集落は、U字溝未設置の用排水路の割合が高いことから、順次設置し、農村環境の整備を図っている。

また、農地については、耕作放棄地の発生防止に努め、農道、水路等の草刈り、泥上げ等を実施し、すでに耕作放棄地となっている農地の草刈りも行い、保全に努めている。

前田野目川保全のため、青少年育成も含め岩魚稚魚放流、村内を横切る国道バイパス沿いの花壇づくりなどにも積極的に取り組んでいる。



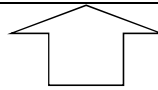
【作業前打合せ風景】



【U字溝設置作業】

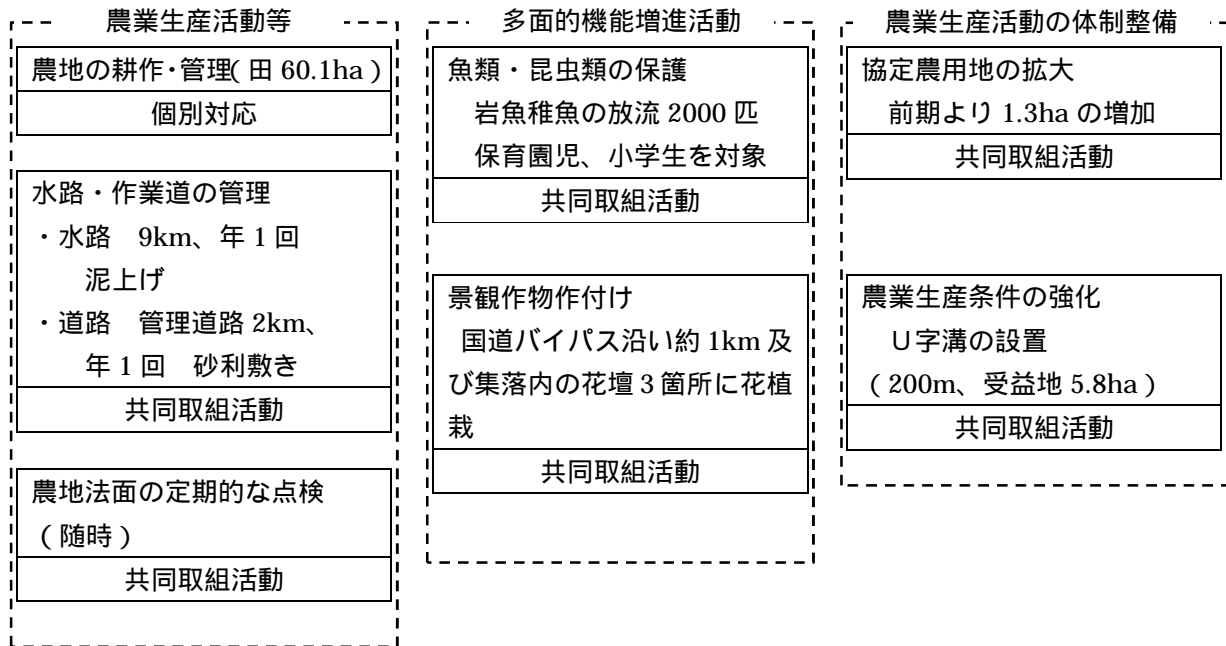
[ 集落の将来像 ]

集落における水源機能や農村景観などの多面的機能を次世代に残し、継続性のある農業生産活動等の体制を整備



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

協定農用地の増加と農業生産条件の強化を図る。



4 . 今後の課題等

U字溝未設置の水路が多数存在していることから、農家の労力軽減及び水源の確保を図るため、今後も継続して設置していく必要がある。

また、耕作放棄地を未然に防ぐため、農作業受託や担い手への農地集積等、早急な対応を迫られている。

[ 第 2 期対策の主な成果 ]

- ・ U字溝の設置 ( 3.3 k m 受益地 33.3ha )
- ・ 認定農業者の育成 ( H17 : 10人、H21 : 11人 )
- ・ 自然生態系の保全に関する学校教育等との連携 ( 小学生による田植え、収穫体験の実施 )
- ・ 景観作物作付け ( 国道沿い花壇約 1 km 及び集落内の花壇 3 箇所 )